

## HDD ビューワー 取扱説明書

### ネットワークディスクレコーダー エッジストレージ

本書は、弊社のネットワークディスクレコーダーやエッジストレージに対応したHDDビューワーの取扱説明書です。

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この取扱説明書（PDFファイル）をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

# もくじ

---

<b>はじめに</b>	商品概要 .....	3
	システム構成 .....	3
	必要なPCの環境 .....	4
	商標および登録商標について .....	4
	著作権について .....	5
	免責について .....	5
	個人情報の保護について .....	5

---

<b>運用までの流れ</b>	①HDDビューワー用パスワードを設定する .....	7
	②HDDを本体から取り外す .....	7
	③HDDビューワー（圧縮ファイル）をUSBメディアに保存し、PCにコピーする .....	7
	④PCにコピーしたHDDビューワー（圧縮ファイル）を展開する ...	7
	⑤取り外したHDDをPCに接続する .....	7

---

<b>運用</b>	HDDビューワーの使いかた .....	8
-----------	---------------------	---

# はじめに

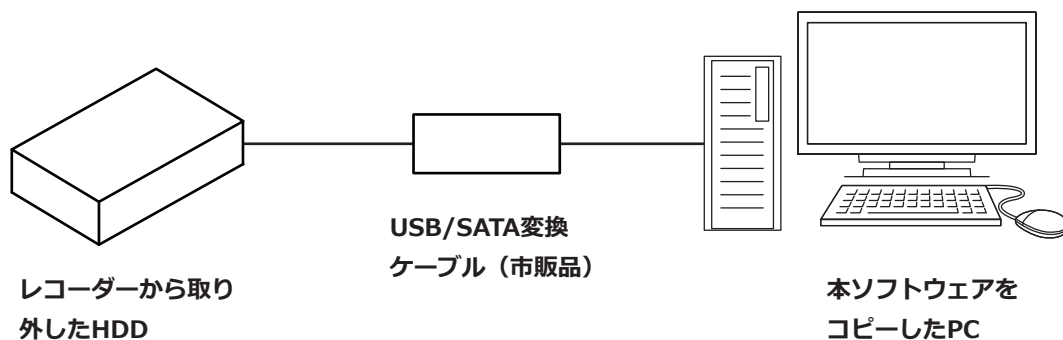
## 商品概要

HDDビューワー（以下、本ソフトウェア）は、ネットワークディスクレコーダー（以下レコーダー）から取り外したハードディスクドライブ（以下、HDD）に記録された映像・音声を、パーソナルコンピュータ（以下、PC）で再生するソフトウェアです。

本ソフトウェアでは、日時やその他の条件で検索して再生したり、静止画像の保存や印刷したりすることができます。HDDビューワーはご使用のレコーダーから入手してください。HDDビューワーを保存する機能がないレコーダーのHDDはHDDビューワーで再生できません。

## システム構成

レコーダーから取り外したHDDを、本ソフトウェアをコピーしたPCと市販品のUSB/SATA変換ケーブルで接続します。  
※本ソフトウェアはインストールせずに使用します。



### 重要

- 再生できなくなりますので、HDD内部のファイルは消したり、移動したりしないでください。

### メモ

- 動作確認済みのUSB/SATA変換ケーブルについては、以下の弊社サポートウェブサイトを参照してください。  
[https://i-pro.com/products\\_and\\_solutions/ja/surveillance/learning-and-support](https://i-pro.com/products_and_solutions/ja/surveillance/learning-and-support)

## はじめに（つづき）

# 必要なPCの環境

PCで本機を操作するには以下の環境を持つPCを推奨します。

対応OS	: Microsoft Windows 10日本語版、Microsoft Windows 11日本語版
CPU	: Intel® Core™ i7-860以上
メモリー	: 4 GB以上
画面	: 1024×768ピクセル以上の解像度、True color 24ビット以上
USBポート	: お使いのUSB/SATA変換ケーブルの仕様に適したポート
サウンド機能	: サウンドカード（音声機能を使用する場合）
その他	: DirectX® 9.0c以上
	: Adobe® Reader®または Acrobat Reader®（取扱説明書を閲覧するため）

### 重要

- 対応OSの動作検証情報については、以下の弊社サポートウェブサイトを参照してください。  
[https://i-pro.com/products\\_and\\_solutions/ja/surveillance/learning-and-support/knowledge-base/technical-information](https://i-pro.com/products_and_solutions/ja/surveillance/learning-and-support/knowledge-base/technical-information)
- 必要なPCの環境を満たしていない場合には、画面の描画が遅くなったりするなどの不具合が発生するおそれがあります。

## 商標および登録商標について

- Adobe、Acrobat ReaderおよびAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Microsoft、DirectXおよびWindowsは、マイクロソフト グループの企業の商標です。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- Intel、Intel Coreはアメリカ合衆国および／またはその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

## はじめに（つづき）

# 著作権について

GPL / LGPL その他に基づきライセンスされるオープンソースソフトウェアを除き、本製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングは禁じられています。また、本製品に含まれるすべてのソフトウェアの輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

# 免責について

- この商品は、カメラで監視している画像の録画、再生を目的に作られています。この商品単独で犯罪などを防止するものではありません。
- 弊社は如何なる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。
  - ①本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
  - ②お客様の誤使用や不注意による障害または本商品の破損などの不便・損害・被害
  - ③お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
  - ④本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、画像が表示・記録などできないことおよび記録した情報が消失したことで被る不便・損害・被害
  - ⑤第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
  - ⑥お客様による監視映像・記録が何らかの理由（ユーザー認証OFFでの使用を含む）により公となり、使用され、その結果生じた、被写体となった個人・団体などによるプライバシー侵害などを理由とする賠償請求、クレームなど
  - ⑦登録した情報内容が何らかの原因（ユーザー名、パスワードなどの認証情報を忘れたことにより本商品を初期化する場合を含む）により、消失してしまうこと

# 個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。\*

法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

※個人情報保護委員会の「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン（通則編）」における「個人情報に該当する事例」を参照してください。

# 運用までの流れ

1

HDD ビューワー用パスワードを設定する  
👉 7 ページ

再生したいHDDに設定するパスワード（HDDビューワーを使用する際に使用します）を設定します。



2

HDD を本体から取り外す  
👉 7 ページ

HDDビューワーで再生したいHDDをレコーダーから取り外します。このとき、手順1で設定したパスワードがHDDに設定されます。



3

HDD ビューワー（圧縮ファイル）を USB  
メディアに保存し、PC にコピーする  
👉 7 ページ

HDDビューワー（圧縮ファイル）をレコーダーからUSBメディアに保存し、PCにコピーします。



4

PC にコピーした HDD ビューワー  
（圧縮ファイル）を展開する  
👉 7 ページ

レコーダーからコピーしたHDDビューワー（圧縮ファイル）を展開し、使用できる状態にします。



5

取り外した HDD を PC に接続する  
👉 7 ページ

取り外したHDDを市販品のUSB/SATA変換ケーブルでPCに接続します。



6

運用  
👉 8 ページ

HDDビューワーを起動し、HDD内のデータを再生・保存・印刷します。

## 運用までの流れ（つづき）

### ①HDDビューワー用パスワードを設定する

HDDをレコーダーから取り外す前に、レコーダーの本体設定のメンテナンス>HDD情報よりHDDビューワー用パスワードを設定します。設定方法は取扱説明書 操作・設定編の [HDDビューワー用パスワードの設定]、[パスワード確認] をお読みください。

#### メモ

- 設定したパスワードは、取り外し操作の際に取り外すHDDに設定されます。
- 再生専用やエラーディスクにはパスワードは設定されません。
- 取り出したHDDを別のレコーダーに組み込んだ場合は、パスワードの有無に関わらず再生が可能です。
- 取り外したHDDに組み込み/フォーマットを行うと、HDD内に保存されたパスワード設定が削除されます。

### ②HDDを本体から取り外す

HDDビューワーで再生したいHDDをレコーダーから取り外します。取り外し処理は取扱説明書 操作・設定編の [HDDの取り外し] をお読みのうえ、お買い上げの販売店（設置工事店）に依頼してください。

### ③HDDビューワー（圧縮ファイル）をUSBメディアに保存し、PCにコピーする

HDDビューワー（圧縮ファイル：NX\_HDD\_Viewer.zip）をレコーダーからUSBメディアに保存し、PCにコピーします。USBメディアへの保存方法は取扱説明書 操作・設定編の [HDDビューワーの保存（USBメディアへ）] を参照してください。

圧縮された状態でUSBメディアのドライブ直下に保存されますので、PCの任意の場所にコピーしてください。

### ④PCにコピーしたHDDビューワー（圧縮ファイル）を展開する

圧縮されたHDDビューワー（NX\_HDD\_Viewer.zip）を展開します。展開するとNxHddViewer\_Install-lessフォルダーが作成されます。このフォルダー内にHDDビューワーの実行ファイル（NxHddViewer.exe）があります。HDDビューワーはインストールせずに使用できます。

### ⑤取り外したHDDをPCに接続する

市販のUSB/SATA変換ケーブルで、取り外したHDDとPCを接続します。接続方法はUSB/SATA変換ケーブルの取扱説明書をお読みください。

# 運用

## HDDビューワーの使いかた

HDDビューワーを起動するには、手順4で展開したフォルダー内の実行ファイル（NxHddViewer.exe）をダブルクリックします。

### 重要

- HDDビューワーは、PCごとにライセンスが必要です。レコーダーには、PC 1台分の1ライセンスを保有しています。HDDビューワーを同時に2台以上のPCで使用する場合は追加のライセンスが必要です。ライセンスについては、お買い上げの販売店（設置工事店）にお問い合わせください。

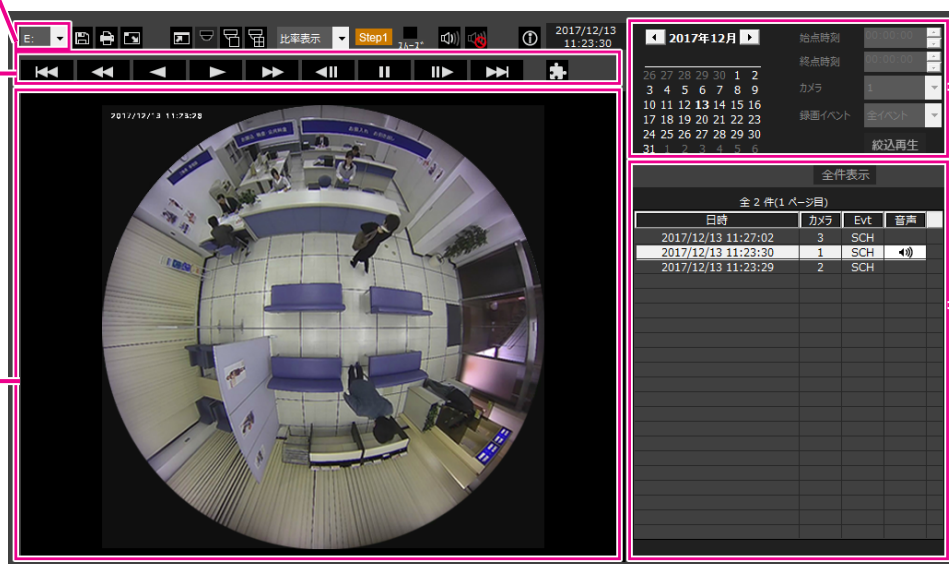
### メモ

- 初回起動時にはライセンス許諾画面が表示されます。ライセンス許諾に同意すると、HDDビューワーが起動します。

ドライブ選択の  
ドロップダウン  
ボックス

再生操作ボタン

画像表示部



サーチボックス

リスト表示部

通常ウィンドウ



全画面表示時の再生操作ウィンドウ



# 運用（つづき）

## HDDドライブを選択する

### STEP1

HDDビューワー左上の「ドライブ選択のドロップダウンボックス」から再生したい映像の入っているHDDのドライブ番号を選択します。

→選択したドライブの映像のリストがリスト表示部に表示されます。

### STEP2

リスト表示部には以下の内容を表示します。





日時：映像の録画開始日時を表示します。

カメラ：映像を記録したカメラ番号を表示します。

Evt：イベント種別を表示します。

音声：音声データがある場合は  を表示します。

### メモ

- 選択したHDDにパスワードが設定されている場合は、パスワードが要求されます。正しいパスワードの入力が確認できた場合のみ、リストが表示されます。
- リストには一度に100件まで表示されます。映像が100件を超える場合は、 や  や  や  の各ボタンをクリックして、映像リストのページを切り替えることができます。

## 映像を再生する

### リストから選択して再生する

リスト表示部の行を選択すると、その映像を再生します。










クリックすると先頭の画像で一時停止状態となり、ダブルクリックすると再生を開始します。

同じカメラの映像がリスト表示されていれば、再生時は次の映像が、逆再生時はひとつ前の映像が連続して再生されます。

### メモ

- 映像にパスワードが設定されている場合は、パスワードが要求されます。正しいパスワードの入力が確認できた場合のみ、映像が再生されます。
- 映像と音声の同期がずれる場合があります。

再生操作ボタンで以下の操作ができます。

再生ボタン		再生を開始します。
逆再生ボタン		逆再生を開始します。
高速再生ボタン		高速再生します。
高速逆再生ボタン		高速逆再生します。
一時停止ボタン		再生を一時停止します。
コマ送りボタン		画像を1コマ進めます。一時停止中のみ操作可能です。
逆コマ送りボタン		画像を1コマ戻します。一時停止中のみ操作可能です。
スキップボタン		リストに表示されている同じカメラで次の映像を再生します。
逆スキップボタン		リストに表示されている同じカメラで前の映像を再生します。

## 運用（つづき）

### 映像を絞り込んで再生する

映像の存在する日付がカレンダーに太字で表示されますので、太字の日付を選択し、絞り込み条件（始点時刻、終点時刻、カメラ番号、録画イベント）を入力して、**絞り再生** ボタンをクリックすると、入力した条件に当てはまる映像のみをリストに表示し、始点時刻以降の映像を再生します。

選択した日付はカレンダー上に赤丸で表示されます。

録画イベントの [全イベント] を選択すると、イベント種別では絞り込まずにその他の条件で絞り込みます。


**全件表示** ボタンをクリックすると、絞り込み条件を解除して元のリストを表示します。


### 画像を見やすくする

#### 画像を拡大して表示する

画像上にマウスをあわせてマウスホイールを操作するとデジタルズーム表示します。ズーム表示中に画像をクリックすると、クリックした位置を画面の中央に移動できます。

#### 表示サイズを変更する

 : ウィンドウを拡大表示します。

 : ウィンドウの拡大表示を元に戻します。

 : 画像を画面全体に最大化して表示します。

画面全体に最大化した画像は **戻る** ボタンまたはEscキーで元の画面に戻ります。

#### 表示形式を変更する


**比率表示** : アスペクト比を維持したまま画面内に収まるように画像を表示します。

**拡縮表示** : 画面内に収まるように画像を伸縮して表示します。

**等倍表示** : 画面の1画素を1ドットで表示します。

等倍表示では画面内をクリックすると、クリックした位置が中心になるように画像が移動します。

#### 高速再生を滑らかにする

 : チェックボックスを有効にすると、滑らかに高速再生します。

PCの性能や処理状況によって、ある一定速度以上にならないことがあります。

#### 全方位ネットワークカメラ（i-PRO製およびパナソニック製、以下全方位カメラ）の魚眼映像を再生する

補正が可能な魚眼映像を選択すると、1画PTZ/4画PTZへの補正表示を実行できます。

1画PTZ/4画PTZで補正表示中に画像をクリックすると、クリックした位置を画面の中心に移動できます。

 : 魚眼画像に戻します。


 : 1画PTZへ補正します。

 : 4画PTZへ補正します。

## 運用（つづき）

### 音量を調整する

音声データがある場合は音声を調整するボタンが表示されます。

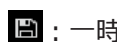
: 音量を調整します。クリックすると音量を3段階で切り換えることができます。

: 音声再生/消音を切り換えます。

他のアプリケーションで音声を制御・調整している場合、HDDビューワーでは音声の再生が正しく行われなことがありません。音声再生を正しく行うには、HDDビューワーのみで音声を調整してください。

### 静止画像を保存する

画像表示部に一時停止状態で表示している画像を、JPEGファイルとして保存できます。

: 一時停止中の画像に名前をつけて保存します。

### 映像をファイルとして書き出す


映像データを、PCの任意のフォルダーにファイル書き出しできます。

映像データをファイル書き出しすると、映像データファイル（ファイル名.n3r）と音声データファイル（ファイル名.n3a）として書き出されます。書き出した映像の再生方法については、取扱説明書 操作・設定編の [コピー・ダウンロードした画像をPCで再生する]をお読みください。

#### STEP1

 ボタンをクリックします。  
→ファイル拡張機能画面が表示されます。

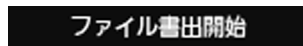
#### STEP2

[書出開始日時] と [書出終了日時] を設定し、書き出したい [カメラ] にチェックを入れ、[出力先フォルダー] に任意のフォルダー名を入力するか、 ボタンをクリックして出力先フォルダーを選択します。

#### メモ


- 全てのカメラの映像をファイルとして書き出したい場合は、[全カメラ] にチェックを入れます。

#### STEP3

 **ファイル書出開始** ボタンをクリックします。  
→指定された条件に当てはまる映像のファイル書き出しを開始し、書き出しが終了すると結果を表示します。

### 画像を印刷する

画像表示部に一時停止状態で表示している画像を、プリンターで印刷できます。



: 一時停止中の画像を日時付きで印刷します。

# 運用（つづき）

## 全方位ネットワークマイクの音声を再生する

音声データに全方位ネットワークマイク（以下、全方位マイク）の音声記録されている場合、画像上のマウス操作で指定位置周辺の音声を聞き取りやすることができます。

### STEP1

集音位置を指定する場合には、 ボタンをクリックします（ ボタンは再生を開始すると表示されます）。







→集音位置指定操作を行うメニューが表示されます。

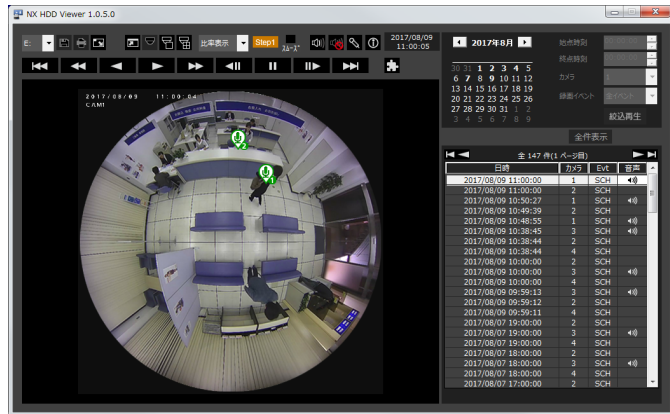



### STEP2

集音位置は同時に2点まで指定することができます。

  ボタンをクリックすると画面上に   アイコンが表示されます。アイコンをドラッグ&ドロップして任意の位置に移動します。



→アイコンをドロップした場所周辺の音声が聞き取りやすくなります。



- 「ボイスクリア」の設定によって、人の声の聞き取りやすさを調整することができます。  
OFF：調整なし  
Low：効き目弱  
High：効き目強
- 「ノイズリダクション」にチェックを入れると音声の定常的なノイズ抑制機能が有効になります。
-  ボタンをクリックすると通常表示に戻ります。

全方位カメラの魚眼画像を1画PTZ/4画PTZに補正して表示している場合、全方位マイクの音声は魚眼画像であらかじめ指定した集音位置に従って出力されます。位置の変更を行う場合は、魚眼映像に戻して操作を行います。

### メモ

- 全方位マイクの音声記録されていない映像データの場合、 ボタンは表示されません。
- 集音位置をどちらも指定しない場合は、無指向の音声となります。
- 表示形式で「比率表示」が選択されているときに  ボタンが表示されます。

i-PRO製品の「お問い合わせ」については、以下の弊社サポートウェブサイトを参照してください。  
[https://i-pro.com/products\\_and\\_solutions/ja/surveillance/contact-us](https://i-pro.com/products_and_solutions/ja/surveillance/contact-us)

**i-PRO株式会社**

<https://www.i-pro.com/>

© i-PRO Co., Ltd. 2022

PGQP3371WA  
L1021-3103